

令和7年度第三者評価 改善状況報告書

令和8年3月31日

施設名	港区立高齢者在宅サービスセンター港南の郷（通所介護）	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区港南3-3-23	指定管理者	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部東京都済生会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 （共同事業者の場合記入）	令和8年3月までの改善状況等 （指定管理者記入欄）	令和8年4月以降の取組予定 （指定管理者記入欄）	所管課確認欄 （施設所管課記入欄）
職員による事業評価では、特に介護職員の入れ替わりによる定着不足が一部の職員の負担につながっているので改善が必要とされる意見が多い。施設では、介護職員の採用については、積極的な人材確保戦略を継続しているが、十分は人員確認には至っていない。今後、外国人採用や各事業所間・各施設間での人材異動や配置の推進等による適切な人材確保対策を推進することにより、職員の業務負担感を軽減し、介護に対する職員の意欲の向上に取り組むことが望まれる。		正職員、非常勤職員の入れ替わりは無いが、派遣介護員は、土曜と祝日が不可の場合が多く（それが理由で派遣の身分でいることが多い）定着が難しい状況となっている。引き続き、デイサービスの経験者で土曜・祝日どちらかでも勤務可能な介護員を募集し、区の職員配置基準を満たすことができている。	介護職員の定着強化に向け、介護補助員の活用や事業所間の人材異動を計画的に推進する。 OJT・メンター制度の整備と業務の標準化により、早期離職を防ぎ負担の偏在を解消する。 ICT・介護補助者の活用を進め、職員が専門業務に集中できる環境を整備し意欲向上を図る。	介護職員の定着不足による業務負担増大の指摘に対し、人材配置の見直しや補助員活用等により改善が図られていることを確認した。今後も業務効率化と人材確保の取組を継続し、負担軽減が進むよう確認していく。
事業所では一般浴・イス浴・寝浴の3種類の入浴方法から、その方の身体機能やその日の状態に応じた方法で入浴してもらっている。加齢による身体機能の低下により、浴槽のまたぎが困難な方、座位は保てるが、一般浴は困難な方、寝たきりで座位を保てない方など、在宅では様々な入浴ニーズがあり、これを充足する入浴設備が当事業所にはある。当事業所では「入浴希望の積極的受け入れ」を重点目標としている。在宅における入浴は切実なニーズなので、目標の実現に向けて、今後とも積極的に受け入れを進めることが望まれる。		一般浴・イス浴・寝浴の3種類の入浴方法の中から、利用者のその日のADLや状態によって当日に変更するなど柔軟に対応している。また、施設での入浴に抵抗感がある利用者の場合は、他者がいないところで入浴できるよう配慮したり、医療的観点からシャワー浴となった場合でも寒く感じることをないよう配慮したり、スムーズに入浴できるよう工夫をしている。イス浴から寝浴に移行となった例では、寝浴や福祉機器の動画を用いて家族に説明することで、家族の理解を得ることができ、安全・安心な入浴サービスを提供することができている。	多様な身体状況に対応できる一般浴・イス浴・寝浴の設備を活かし、入浴希望者の積極的受け入れを継続する。安全な入浴提供のため、当日の体調評価や介助体制の強化を図り、安心して利用できる環境を整備する。 在宅で入浴が困難な高齢者の切実なニーズに応えるため、柔軟な運用を推進する。	入浴ニーズへの対応について、状態に応じた柔軟なサービス提供が実施されていることを確認した。今後も安全性と受入体制の向上が図られるよう取組状況を確認していく。
事業所には常勤の看護師を配置しており、各利用者のかかりつけ医等と連携・協力しながら、医療的ケアを通じて在宅生活の継続を支援している。医療依存度の高い利用者にとって、外出機会や他者との交流は生活の質（QOL）に直結する重要なニーズであり、これに対応できるデイサービスが求められている。当事業所では「医療ニーズのある利用者の積極的な受け入れ」を重点目標として掲げており、今後も継続かつ積極的な受け入れが望まれる。		利用者の健康状態に応じてかかりつけ医や訪問看護師への報告や相談を行うことで連携・協力ができている。来所直後に状態の悪化が見られた事例では、迅速にかかりつけ医の指示を仰ぐことでさらなる悪化を防ぐことができた。 在宅酸素やインシュリン注射、胃ろう、吸引、褥瘡などの皮膚の処置など、医療的管理を日々行い、積極的に受け入れている。また、送迎中の身体的負担を考慮し、長時間の乗車とならないよう配慮している。	常勤看護師と主治医等との連携体制を強化し、医療ニーズの高い利用者の受け入れを継続的に推進する。医療的ケアを必要とする利用者が安心して参加できるよう、観察・緊急対応手順の標準化と職員研修を充実させる。 外出機会や交流支援を通じてQOL向上に寄与し、在宅生活の継続を支えるデイサービス機能を強化する。	医療依存度の高い利用者への対応について、医療機関連携が適切に行われていることを確認した。今後も体制整備と受入推進状況を継続的に確認していく。